



当初予算を厳しくチェック！

令和8年度各会計予算審査特別委員会（3/9・16～18）を開催しました。
本年度の予算は、町民税や固定資産税の歳入予算が昨年度比で約6,400万円増額となる見込みが報告され、住民サービス向上に向けた質疑が行われました。

議員が注目！今回の目玉事業

地域コミュニティ活性化事業
（町内会運営費補助金）

⇒ 8ページハ

医療人材確保支援事業

子育て世帯訪問支援事業

⇒ 9ページハ

高齢者外出支援
タクシー料金助成事業

⇒ 10ページハ

森林資源活用促進事業

阿蘇公園バックネット改修事業

⇒ 11ページハ

当別町観光協会補助金

学校部活動地域展開推進事業

⇒ 12ページハ

学校給食無償化事業

けん いわでやま
遣 岩出山生徒使節団事業

⇒ 13ページハ

乳児等のための支援給付事業（こども誰でも通園制度）

すべての子どもたちの健やかな育ちを応援し、子育て世帯の孤立を防ぐため、保護者の就労状況に関わらず、0歳6カ月から満3歳未満の未就園児が保育施設を定期的に利用できるようにします。

令和8年度予算

部ごとの費目はこんな感じ！

総務部

総務費、消防費、公債費、
職員費、予備費等

企画部

総務費、土木費等

教育委員会

総務費、教育費、
職員費等

住民環境部

総務費、民生費、衛生費、
特別会計（国民健康保険・
後期高齢者医療）等

福祉部

民生費、衛生費、
特別会計（介護保険・
介護サービス事業）等

経済部

農林水産業費、商工労働
費等

建設水道部

土木費、災害復旧費、事業
会計（水道・下水道）等

農業委員会

農林水産業費等

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



819万円 地域コミュニティ活性化事業

現役世代や若者が、主体的に企画する事業の実施や、参加しやすさに配慮した町内会事業への補助を行うため、これまでの「町内会補助金」の中に、新たに「地域コミュニティ活性化事業費」を新設し、町内会の活性化への支援を行います。

町内会運営費補助金 819万円

町内会活動に係る経費や町内会街路灯の維持費、ゴミステーション整備に係る経費への補助を行う。

地域コミュニティ活性化事業費を新設

議員の質問・町の回答

Q: 内容、補助の要件は。

A: 若者や現役世代が主体的に企画・参加しやすいイベントや講演会などを対象に助成。町内会が主体となる事業を条件とし、公募・審査により2町内会を選定する。

Q: 複数町内会が共同で事業を実施する場合、まとめて申請することは可能か。

A: 町内会ごとに費用を申請する設計。共同実施であっても、各町内会がそれぞれ申請する仕組みを想定している。

Q: 対象は。イベント開催時の送迎等、町内会が困りがちな部分にも使えるか。

A: 講師料、消耗品、備品、イベント保険など広範囲が対象。町内会から相談を受け、内容確認後に申請書提出→審査→交付の流れで対応する。

こども家庭センターの設置

令和8年4月に「当別町こども家庭センターひらり」を開設します。センターでは、町に居住する子ども及びその家庭、妊産婦等の相談や困りごとに対応し、相談内容に応じて、子育ての情報や諸手続きの案内、適切なサービスや関係機関へつなぐ等、包括的な支援を行います。

設置場所

総合保健福祉センターゆとろ内（当別町西町32番地2）

【妊娠・出産・乳幼児の相談】

保健福祉課健康推進係 23-4044

妊娠・出産・母子の健康等

【ご家庭やこどもの相談】

子ども未来課子育てサポート係 25-2658

育児・しつけ・こどもの発達・ヤングケアラー・児童虐待等

議員の質問・町の回答

Q: 町長の予算執行方針の説明で、「こども家庭センターを開設する」とあったが、予算書にはその事業が見当たらない。どこに、どのように予算が計上されているのか。

A: センター設置により相談支援体制を確立することを目的としており、センター独自で実施する事業はないが、関係する事業の予算は民生費と衛生費に計上しており、合わせて132万円である。



570万円 医療人材確保支援事業

人口減少が進む中で、町内の医療体制を維持するために、医師・歯科医師・看護師・リハビリ専門職等の医療従事者を確保するため、支援を行います。

事業内容

医療機関が人材を確保する際に必要となる、人材紹介会社への紹介料（いわゆる成功報酬）の一部を町が支援する。



昨年度に引き続き、
介護人材確保事業もあります
(予算額270万円)

議員の質問・町の回答

Q: 対象職種は。医療事務も含むか。

A: 町内医療機関等に勤務する、国家資格等のある医師や薬剤師等の医療従事者やリハビリ職の作業療法士等も対象となる。医療事務は対象外。

Q: 対象となる事業所数は。

A: 町内の医療機関・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーションの計24施設。

74万円 子育て世帯訪問支援事業

当別町こども家庭センターを設置し、妊娠期から切れ目のない支援強化を推進するにあたり、食事、生活習慣に支援を必要とする等、養育に不安がある子育て家庭や妊産婦に対し、訪問支援員が居宅を訪問し家事援助や育児の助言を行うことにより、適切な養育環境を整えるための支援です。

議員の質問・町の回答

Q: 訪問支援員は専門職の他、育児経験者も可能と聞く。既存のファミリー・サポートセンター※1の協力会員との協力・連携も含め、どのように運用していくのか。

A: 町内のホームヘルパーステーション2カ所へ委託予定。所属する訪問支援員で育児支援が可能な方のうち、町が提供する研修を受けた訪問支援員を対象のご家庭へ派遣する。ファミサポとの連携は想定していない。

※1 当別町ファミリー・サポートセンター
(通称：ファミサポ) …
子どもの預かりの「援助を受けたい方」と「援助を行いたい方（協力会員）」がそれぞれ会員登録し、援助が必要な時に協力会員を紹介する仕組み。

Q: 育児疲れや養育に困っている家庭のみが対象か。その他の家庭が家事を頼む等の気軽な利用も可能か。

A: 国の実施要綱に基づき、育児疲れや養育に困っている家庭が対象となる。こども家庭センターで支援の方針を決める中で、例えば食生活に困り感があれば食事支援を行うなど、支援方針に沿った支援をしていく。

Q: 今まで、ファミサポで家事支援ができないか議論してきた経緯がある。今後、リフレッシュ目的で気軽に利用する等の支援拡大は可能か。

A: 国の補助要件等、今後の動向を見ながら検討していく。ファミサポでは家事支援はできないが、お子さんを協力会員に見てもらう間に保護者が家事をするという利用方法もある。今あるサービスを上手に使っていただけるよう、窓口等で勧めていきたい。



852万円 高齢者外出支援 タクシー料金を助成

移動手段の確保が困難な高齢者世帯に対し、タクシー利用券を交付することで、通院や地域活動等への外出を支援し、社会的孤立の防止及び生活の質の向上を図ります。

いつから？

令和8年7月開始



いくら助成される？

1世帯あたり月3,000円分

どんな外出の時に使える？

外出理由による制限はありません

対象者は？

町内に住所を有し、在宅で生活している70歳以上の方で、運転免許を保有していない方、または運転免許を保有していても自家用車を所有していない方のうち、次のいずれかに該当する方

- 同居等の親族がいない方
- 同居等の親族はいるが外出支援を受けられない方



議員の質問・町の回答

Q: 介護タクシーも助成の対象に含まれるか。

介護タクシーの町内事業者数は少ないが、町外の事業者も利用できるのか。

A: 介護タクシーも対象である。ただし、町外の介護タクシー事業者は利用の対象外となる。

Q: 助成額の「3千円」は一人あたりか。世帯か。

A: 世帯に対する助成である。高齢者夫婦2人の場合も、1世帯になるので、助成は3千円となる。

Q: 予算852万円を超える申し込みがあった場合、補正予算での増額を検討しているか。

A: 上限に達したら終了というものではない。補正予算等については、今後の執行状況を見て、申請者全員に当たるよう対応したい。

Q: 1世帯あたり2万7千円（3千円×9カ月）が助成されると説明を受けたが、対象人数の考え方や、需要をどう見込み、この予算額を算定したのか伺う。

A: まず、70歳以上の高齢者ひとり世帯・夫婦世帯を約1,650世帯と推計している。そこから、運転免許証を保有していない世帯等を絞るため、他市町村の先行事例より、利用率約26%を基に430世帯と想定した。予算額は利用率70%で積算し、約812万円を補助金、残り40万円は事務費として計上している。

Q: 利用率70%の予算とのこと。残り30%をどう考えるか。

A: 本事業の利用にあたっては、タクシーチケットを交付し、運転手にチケットを渡す仕組みで、タクシー事業者から町へ請求し、支払う。残りの30%は使用していないチケットが残るといった想定である。



100万円 森林資源活用促進事業

森林環境譲与税を利用し、町内の薪など林産物の利用促進のために補助を行うことで、森林整備の促進、持続可能な地域林業の支援と将来の優良資源の確保、地元資源活用の促進を図ります。

議員の質問・町の回答

Q: 近年、薪の需要が増加している。本事業の具体的な内容と流れは。

A: 町内事業者が、丸太生産時の端材等を町民へ販売した際に補助を行う。町外から薪を買う事例が多く、町内資源の利活用を促すための事業である。

Q: 間伐材を集めて保管し、購入者とマッチングさせるような方式か。

A: 保管方式ではなく、森林所有者が町民へ販売した実績に基づき補助。利用形態が様々であるため、販売時の領収書等を基に、補助金を交付する。

阿蘇公園バックネット改修事業

阿蘇公園（当別町元町53番地10）は昭和55年に設置された野球場のほか、複合遊具、修景池等もあり、夏冬ともにイベントが開催される本町地区の主要な公園です。

令和7年度春の強風によりバックネットが倒壊し、現在、撤去後簡易的なネットを張り仮復旧している状態であり、延長20メートル、高さ4メートルの防球ネットでの修繕を実施します。



倒壊直後の野球場バックネット



現在の野球場バックネット（仮復旧）

議員の質問・町の回答

Q: 工事時期はいつか。期間は。

A: 雪解け後の5月頃に着手予定。バックネット製作に約3カ月、工事に約1カ月かかる見込みで、早くて9月頃に完成予定。

Q: その期間中は、利用できないのか。

A: 現在は簡易的なネットを使用しており、試合はできないが、練習での利用は可能である。



578万円 当別町観光協会補助金

町内への誘客を促進し、地域経済の活性化を図るため、各種イベントへの参画や道内外での観光プロモーションの実施、姉妹都市との経済交流事業等、各種事業に対して補助を行います。



@kankou.tobetsu

当別町観光協会のInstagram（日本語）です。
フォローよろしくお願いします。



議員の質問・町の回答

Q: 補助金額が昨年度より276万円増。この理由は。

A: 観光パンフレット増刷、多言語パンフレット増刷、観光バスの助成増、台湾・香港向けSNSアカウント運用、姉妹都市との経済交流（旅行会社合同セールス等）の費用増による。

Q: 本町地区への観光誘導のための予算はあるか。

A: 直接は含まれないが、外部補助制度を活用し、とうべつ伊達御膳のプロモーション、森林体験コンテンツ造成など本町地区の観光素材整備を実施。今後は観光バス助成などで誘導を図る。

Q: 台湾・香港向けSNS運用はInstagramで行うのか。AI翻訳等ではなく外部委託とした理由は。

A: Instagramと、Facebookを想定。リアルタイムの観光情報更新には事業者連携が必要で、専門的運用が求められるため。

1,475万円 学校部活動地域展開推進事業

子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる体制を整備するため、学校部活動を一部種目において地域クラブ化し、部活動地域展開を推進します。

令和8年度より、新たにクラブ専用車両1台を導入し、実証運行します。

学校部活動と当別（認定）地域クラブの主な違い

項目	学校部活動	地域クラブ
実施主体	中学校	民間クラブや地域の団体
指導者	中学校の先生（専門外の場合あり）	専門的な指導者（教員が兼職兼業で行う場合もあり）
活動場所	自分の中学校	各学校施設・公共施設・民間施設等
参加者	自分の中学校の生徒	町内の全小中学生が主体
選択肢	自分の学校の部活動から選ぶ	他校や学校外も含め、自分に合うクラブを選ぶ

議員の質問・町の回答

Q: 導入するクラブ専用車両はどのような車か。運行管理はどこが行うのか。

A: 10人乗りワゴン車を1台導入予定。運行管理はNPO法人ふれ・スポ・とうべつが行い、送迎や物品の運搬等に使用する。

Q: 車両は全クラブが利用できるのか。送迎ができないクラブが生じないか。

A: 令和8年度は6クラブで実証的に運行。人数などにより課題が出た場合は調整し、令和9年度以降の本格実施可否を検討する。



小学生も中学生も！学校給食無償化

国が進める「小学生の学校給食無償化」に加え、町独自で「中学生の学校給食無償化」を行います。また、それに上乗せする形で給食材料費の補充を行い、給食費を完全無償化します。

学校給食無償化事業

4,202万円

国が進める小学生の学校給食無償化に加え、町独自で、中学生の学校給食無償化を行う。

国の「小学校給食無償化」：
公立小学校の児童を対象に、一人あたり月5,200円分を公費で支援する。

学校給食物価高騰対策事業

1,185万円

食材等の物価高騰が続くなか、学校給食栄養摂取基準を充たし、安心・安全な学校給食を維持していくため、給食材料費の補充を行う。

+

給食といえばとべっこランチ！

とべっこランチとは、月に一度、町や姉妹都市、その他旬の食材を使用した献立を提供する特別な学校給食のことです。

昨年11月には当別町産有機栽培米ななつぼしが使用されました。



議員の質問・町の回答

Q: 給食費無償化の財源は、小学校の分は国と北海道から2,774万円、中学校の分は当別町から1,428万円という理解で問題ないか。

A: お見込みのとおりである。

Q: 中学校給食無償化に関する国の制度を待たずに、町独自で実施する理由は。

A: 児童生徒に差をつけず、安定的に給食を提供したいという町の方針で、町独自で予算化した。

73万円

いわでやま 遣岩出山生徒使節団事業

町内の子どもたちが姉妹都市について学習する機会を創出することを目的として、宮城県大崎市岩出山に町立学校の生徒等を派遣します。



議員の質問・町の回答

Q: 対象、期間は。

A: 中学1・2年生を対象に、4名を派遣。期間は2泊3日程度を想定している。

Q: 学びの目的は。

A: とうべつ未来学(ふるさと教育)の一環として、岩出山との交流の由来や、歴史をじかに学ぶことを目的としている。

Q: 岩出山側の来訪予定は。

A: 現時点で、調整はしていない。今後、事業が盛り上がり、岩出山側でも検討される可能性がある。





その他の質疑



土木費

雪解け時の道路の穴対策

工事請負費 4億2,040万円

問 例年、雪解け時に町民から様々な声を聞く。道路の維持管理や穴など、どのように積算しているか。

答 対象の舗装修繕工事費は道路の延長に基づいて積算している。また、昨年度の実績を踏まえ、修繕料や新設改良費など、各科目の中で予算を増額して対応している。

土木費

何カ所の修繕が可能？

修繕料 3,480万円

問 この予算でどの程度、何カ所の修繕が可能か。修繕方法は。また、住民から危険箇所の修繕依頼があった場合、速やかに対応してもらえるのかを伺う。

答 1トンあたりの単価で契約しており、穴の深さや幅により変動する。予算上230トン程度の修繕が可能で、基本は穴埋めで対応。通報を受けた際は、状況により危険箇所は速やかに対応している。

土木費

排雪車の現在地 公表を

除排雪情報システム保守管理業務委託 620万円

問 除排雪車の位置を、リアルタイムまたは事前に把握し、迂回等で子どものお迎え等の予定が遅れないよう備えたいという要望が町民からあった。協議会でどう議論されたか。

答 協議会で議題にあげたが、「雪出し」等の危険性や、それによる事故の可能性があることから、リアルタイムでの公開は行わないことになった。

道路に雪を出さないで！

道路に雪を出すと、歩行者や車の通行の妨げとなります。道路がデコボコの状態になったり車道が狭くなり、交通事故の原因にもなります。

安全で効率的な除排雪作業を行うためには、町民みなさんの協力が欠かせません！ご協力よろしくお願いします。

『各会計予算案 原案どおり可決』

～ 予算審査特別委員会報告～

令和8年度各会計予算審査特別委員会



委員長 島田委員長

海野副委員長

予算審査特別委員会 インターネット動画配信

議会だよりに掲載していない質疑の様子が見られます。

1日目 各部局からの説明



総務部 / 企画部 / 教育委員会



住民環境部 / 保健福祉部 / 経済部 / 建設水道部 / 農業委員会

総務部

総務費、消防費、公債費、職員費、予備費等

企画部

総務費、土木費等

教育委員会

総務費、教育費、職員費等

住民環境部

総務費、民生費、衛生費、特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療）等

福祉部

民生費、衛生費、特別会計（介護保険・介護サービス事業）等

経済部

農林水産業費、商工労働費等

建設水道部

土木費、災害復旧費、事業会計（水道・下水道）等

農業委員会

農林水産業費等

2日目 質疑・回答



総務費 / 民生費 / 衛生費



農林水産業費 / 商工労働費 / 土木費 / 災害復旧費

3日目 質疑・回答



教育費 / 職員費 / 公債費 / 予備費 / 歳入 / 特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス事業） / 事業会計（水道・下水道）

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

